



ひので映画大使最新版

第51回映画大使「思い出のマーニー」&映画大使50回記念イベント

期 日 平成26年7月8日(火) ※試写会で開催しました

場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

イギリス児童文学の古典的名作「思い出のマーニー」をスタジオジブリがアニメーション化！日本の北海道を舞台にし、心閉ざした少女・杏奈と不思議な金髪の少女・マーニーのひと夏の物語。

ジブリ初のダブルヒロインを描くのは、「借りぐらしのアリエッティ」以来、2度目の長編となる米林宏昌監督。心温まるストーリー展開にご期待ください！



(C) 2014 GNDHDDTK

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

☆ 待望のスタジオジブリ最新作！

☆ 人物や自然などの描写は、相変わらず素晴らしいですね！

☆ ファンタジックな場面に引き込まれました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

■Aさん

昔の事を思い出すようで、感無量でした。過ぎ行く時の大切さを感じました。幻想的なアニメでしたね。

■Bさん

里親として子を育てていく事の難しさ、親が一生懸命でも時に素直になれない子どもの心の問題など、大変な部分がありますよね。そこがテーマになっている本作を観ていて、胸が痛みました。主人公の杏奈が周りの人に影響されて、素直になった事が本当に嬉しかった。里親の方達は本当に凄と思います。

■Cさん

許す側と許される側。「許さないぞ」という気持ちを解いて、人を許した時、許された側がほっとするのが主ではなく、許した自分が解放されるんだという事を感じました。問題は相手ではなく、自分なんだなって、思いました。

■Dさん

ジブリの作品をきちんと観るのが、実は初めてなのですが、ジブリの映画というのは、こういう事なのだというのを実感しました。ストーリーの良さは勿論ですが、絵と音楽の美しさにも感動して、最後の方は号泣してしまいました。

私も娘がいる母親で、私の母と娘の関係も日頃見えていますし、親子愛だったり、おばあちゃんからの愛情だったり、色々な事が自分の感情と重なって、とても感動しました。

■Eさん

今回も自然の描写が綺麗でしたね。背景を観るだけでも感動します。
自分が親に言われると嫌に感じてしまう事を、自分の子どもにも分かっていながら、心配だから言ってしまう事があります。よくある事ですが、親子の関係って難しい所がありますよね。
月に照らされたボートのシーンなど、印象的なシーンが多かったですね。

■Fさん

夕焼けのシーンなど、実写より綺麗なシーンが多かったですが、ストーリーが進むにつれて、途中ちょっと怖いなっていう場面もありました。描写の仕方もある感じの所があり、現実とそうでない世界が入り混じってきて区別がつかなくなるような・・・、マーニーのいる世界って・・・(ここから先は伏せます。劇場でお確かめください！)。でも、観終わった後の印象は、この途中の印象とはかなり違うものとなっていました。
原作を読んでみたくまりました！

■Gさん

自分の事が嫌いな杏奈、最後は自分を好きになれたかなって思えたのは、誰かが自分を愛してくれてるっていうのを心の底から気付いたから、人を許し、自分も許せるという事に繋がったのでしょうか。少し内容が重かったですが、北海道の大自然の描写が和らげてくれたはジブリならではのですね。
私の身近に杏奈と同じ立場の子がいますが、幸せそうに見えても、本当の心の思いを伝える相手がない、という事を聞いた事があります。そういう面からも考えさせられる作品でした。

■Hさん

自分が嫌だった杏奈が周りからの愛情を感じて、次第に表情が明るくなっていきましたね。口元の表情などが変わっていくのが分かりました。少しホラーチックなところ、「永久に一緒だよ」というセリフにはちょっとゾクってしました(笑)。
本当は優しい女の子だったんですね。

■Iさん

海とか山の風景が綺麗でしたね。ラストシーンは印象的でした。友情とか、相手を許すというのは大切なことなんですね。素晴らしい作品でした！

▶ 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ 本当に旅行に出かけたくなるような、美しい自然の描写でしたね。
- ・ ダブルヒロインというのもジブリでは新鮮でしたね。
- ・ 伏線のはり方が、面白かったですね。
- ・ ジブリ作品ではいつもそうですが、食事のシーンは本当に美味しそうですね。トマトなんか本物みたい！
- ・ 人と人との繋がりとというのは、大切なんですね。
- ・ 音楽や主題歌も良かったです。
- ・ 小さい子には多少難解かもしれませんが、心に響くものはあるでしょうね。

▶ まとめ

ジブリ最新作はイギリスの児童文学を原作に、舞台を日本に描き直した感動作でした。人にはそれぞれ、自分にしか分からない悩みや苦しみがあると思います。それを解決してくれるのは、周りの人達の支えが勿論必要な時もありますが、結局、自分自身の強い心なのでしょう。この作品では「許す」という事が大きなテーマとなっていますが、許す心というのは、強い心がないと持てないという事を教えてくれました。

夏休みに是非、劇場の大スクリーンをご覧ください！

▶ ひので映画大使50回記念イベントを開催しました！

5月開催で50回目を迎えた「映画大使」を記念して、6月28日(土)、イオンシネマ日の出にて「特別上映会」及び「立食パーティー」を開催しました。対象は現映画大使と、過去に大使として活動

いただいた方です。また、映画大使の普及を目的に、一般の町民（映画大使に登録された事がない方）も上映会のみ公募しました。

鑑賞作品は1989年に公開され、映画への深い愛情が描かれた名作「ニュー・シネマ・パラダイス」でしたが、皆さん大変感動されており、「素晴らしかった」など多くの好評の声があがっていました。

劇場については、イオンシネマ日の出のスクリーンを「シアターレンタル」として借切りました(7番スクリーン)。

続いて行った、現・旧映画大使を対象にした、劇場内での立食パーティーでは濱松裕子教育委員長、中垣智子イオンモール日の出ゼネラルマネージャー(GM)にご祝辞をいただき、大使を代表して、北川千枝子様に乾杯の音頭をとっていただきました。委員長からは、「映画が皆さんの生活を豊かにしますように」と、GMからは、「官民一体となったこの映画大使がいつまでも続きますことを願います」とのお言葉をいただきました。

パーティー中には、何名かの大使の方に「今まで観た中でベストワン作品」について語っていただいたり、スクリーンに映しだされた50回分の記念写真を見ていただいたりして、大変和やかな雰囲気でした。

大使の方からも、「素晴らしいイベントでした」、「大使の輪が広がります」などの好評の声を多くいただきました。

この映画大使がいつまでも続きますよう、皆様と一緒に楽しく活動していきたいと思います。

これからもよろしくお願いいたします！



➤ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➤ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問い合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係

電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶



ひので映画大使最新版

第51回映画大使「思い出のマーニー」&映画大使50回記念イベント

期 日 平成26年7月8日(火) ※試写会で開催しました

場 所 イオンシネマ日の出

【作品紹介】

イギリス児童文学の古典的名作「思い出のマーニー」をスタジオジブリがアニメーション化！日本の北海道を舞台にし、心閉ざした少女・杏奈と不思議な金髪の少女・マーニーのひと夏の物語。

ジブリ初のダブルヒロインを描くのは、「借りぐらしのアリエッティ」以来、2度目の長編となる米林宏昌監督。心温まるストーリー展開にご期待ください！



(C) 2014 GNDHDDTK

映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

▶ 映画大使の「第一声！」

☆ 待望のスタジオジブリ最新作！

☆ 人物や自然などの描写は、相変わらず素晴らしいですね！

☆ ファンタジックな場面に引き込まれました！



今回参加された、映画大使の皆さんです！

▶ 映画大使の「映画のツボ！」

■Aさん

昔の事を思い出すようで、感無量でした。過ぎ行く時の大切さを感じました。幻想的なアニメでしたね。

■Bさん

里親として子を育てていく事の難しさ、親が一生懸命でも時に素直になれない子どもの心の問題など、大変な部分がありますよね。そこがテーマになっている本作を観ていて、胸が痛みました。主人公の杏奈が周りの人に影響されて、素直になった事が本当に嬉しかった。里親の方達は本当に凄と思います。

■Cさん

許す側と許される側。「許さないぞ」という気持ちを解いて、人を許した時、許された側がほっとするのが主ではなく、許した自分が解放されるんだという事を感じました。問題は相手ではなく、自分なんだなって、思いました。

■Dさん

ジブリの作品をきちんと観るのが、実は初めてなのですが、ジブリの映画というのは、こういう事なのだというのを実感しました。ストーリーの良さは勿論ですが、絵と音楽の美しさにも感動して、最後の方は号泣してしまいました。

私も娘がいる母親で、私の母と娘の関係も日頃見えていますし、親子愛だったり、おばあちゃんからの愛情だったり、色々な事が自分の感情と重なって、とても感動しました。

■Eさん

今回も自然の描写が綺麗でしたね。背景を観るだけでも感動します。
自分が親に言われると嫌に感じてしまう事を、自分の子どもにも分かっていながら、心配だから言ってしまう事があります。よくある事ですが、親子の関係って難しい所がありますよね。
月に照らされたボートのシーンなど、印象的なシーンが多かったですね。

■Fさん

夕焼けのシーンなど、実写より綺麗なシーンが多かったですが、ストーリーが進むにつれて、途中ちょっと怖いなっていう場面もありました。描写の仕方もある感じの所があり、現実とそうでない世界が入り混じってきて区別がつかなくなるような・・・、マーニーの世界って・・・(ここから先は伏せませす。劇場でお確かめください！)。でも、観終わった後の印象は、この途中の印象とはかなり違うものとなっていました。
原作を読んでみたくまりました！

■Gさん

自分の事が嫌いな杏奈、最後は自分を好きになれたかなって思えたのは、誰かが自分を愛してくれてるっていうのを心の底から気付いたから、人を許し、自分も許せるという事に繋がったのでしょうか。少し内容が重かったですが、北海道の大自然の描写が和らげてくれたはジブリならではのですね。
私の身近に杏奈と同じ立場の子がいますが、幸せそうに見えても、本当の心の思いを伝える相手がない、という事を聞いた事があります。そういう面からも考えさせられる作品でした。

■Hさん

自分が嫌だった杏奈が周りからの愛情を感じて、次第に表情が明るくなっていきましたね。口元の表情などが変わっていくのが分かりました。少しホラーチックなところ、「永久に一緒だよ」というセリフにはちょっとゾクってしました(笑)。
本当は優しい女の子だったんですね。

■Iさん

海とか山の風景が綺麗でしたね。ラストシーンは印象的でした。友情とか、相手を許すというのは大切なことなんですね。素晴らしい作品でした！

👉 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ 本当に旅行に出かけたくなるような、美しい自然の描写でしたね。
- ・ ダブルヒロインというのもジブリでは新鮮でしたね。
- ・ 伏線のはり方が、面白かったですね。
- ・ ジブリ作品ではいつもそうですが、食事のシーンは本当に美味しそうですね。トマトなんか本物みたい！
- ・ 人と人との繋がりとというのは、大切なんですね。
- ・ 音楽や主題歌も良かったです。
- ・ 小さい子には多少難解かもしれませんが、心に響くものはあるでしょうね。

👉 まとめ

ジブリ最新作はイギリスの児童文学を原作に、舞台を日本に描き直した感動作でした。人にはそれぞれ、自分にしか分からない悩みや苦しみがあると思います。それを解決してくれるのは、周りの人達の支えが勿論必要な時もありますが、結局、自分自身の強い心なのでしょう。この作品では「許す」という事が大きなテーマとなっていますが、許す心というのは、強い心がないと持てないという事を教えてくれました。
夏休みに是非、劇場の大スクリーンでご覧ください！

👉 ひので映画大使50回記念イベントを開催しました！

5月開催で50回目を迎えた「映画大使」を記念して、6月28日(土)、イオンシネマ日の出にて「特別上映会」及び「立食パーティー」を開催しました。対象は現映画大使と、過去に大使として活動

いただいた方です。また、映画大使の普及を目的に、一般の町民（映画大使に登録された事がない方）も上映会のみ公募しました。

鑑賞作品は1989年に公開され、映画への深い愛情が描かれた名作「ニュー・シネマ・パラダイス」でしたが、皆さん大変感動されており、「素晴らしかった」など多くの好評の声があがっていました。

劇場については、イオンシネマ日の出のスクリーンを「シアターレンタル」として借切りました(7番スクリーン)。

続いて行った、現・旧映画大使を対象にした、劇場内での立食パーティーでは濱松裕子教育委員長、中垣智子イオンモール日の出ゼネラルマネージャー(GM)にご祝辞をいただき、大使を代表して、北川千枝子様に乾杯の音頭をとっていただきました。委員長からは、「映画が皆さんの生活を豊かにしますように」と、GMからは、「官民一体となったこの映画大使がいつまでも続きますことを願います」とのお言葉をいただきました。

パーティー中には、何名かの大使の方に「今まで観た中でベストワン作品」について語っていただいたり、スクリーンに映しだされた50回分の記念写真を見ていただいたりして、大変和やかな雰囲気でした。

大使の方からも、「素晴らしいイベントでした」、「大使の輪が広がります」などの好評の声を多くいただきました。

この映画大使がいつまでも続きますよう、皆様と一緒に楽しく活動していきたいと思います。

これからもよろしくお願いいたします！



➤ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

➤ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問い合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係

電話042-597-0511(内線541)

◀ [前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶